

2009年7月3日

**“損保業界初”****事業継続マネジメントシステム「BS25999-2」の認証取得について**

～首都圏を襲う大災害発生時にも、損害保険事業継続へ！ マネジメントシステムを構築～

日本興亜損害保険株式会社（社長：兵頭 誠）は、6月22日、お客様等への保険金のお支払いに関する業務について、事業継続マネジメントシステム（BCMS：Business Continuity Management System）の実質的な国際規格である「BS25999-2」の認証を、損害保険業界として初めて取得しました。

なお、本日これに伴い、認証登録機関であるBSIマネジメントシステム ジャパン株式会社<sup>(注1)</sup>より認証登録書が授与されましたのでお知らせいたします。

**【背景】**

- ・近年、新型インフルエンザの世界的まん延や大規模地震の発生可能性の高まりにより、企業の事業継続に対する取組みの重要性が、今後より一層強まることが予想されています。
- ・弊社は、このような自然災害等の発生時においても、保険業務を継続することが社会的貢献につながるものと考え、2006年より事業継続マネジメントシステムの構築を進めてきました。

**【認証取得に向けた取組み】**

- ・事業継続への期待が最も高い保険金支払い業務について、お客様がより一層の安心感を高めていただくために、社内への教育・訓練、内部監査等を通じて、保険金の安定的な支払態勢の確保を目的とした取組みを強化してきました。
- ・このたび、弊社の保険金支払い業務の継続にかかる取組みが、国際レベルの基準を満たすものとして、認証登録機関であるBSIマネジメントシステム ジャパン株式会社により、事業継続マネジメントシステムの実質的な国際規格である「BS25999-2」の認証を、損害保険業界として初めて取得しました。

**【認証登録の概要】**

- ・事業者名 : 日本興亜損害保険株式会社
- ・認証の適用範囲 : 首都圏における自動車保険および火災保険の保険金支払いおよび損害調査関連業務<sup>(※)</sup>  
(※) 首都圏における損害調査関連業務が継続可能であれば、全店的に支障は生じないと考えております。
- ・認証取得日 : 2009年6月22日
- ・認証登録機関 : BSIマネジメントシステム ジャパン株式会社
- ・認定機関 : 英国認証機関認定審議会（UKAS）<sup>(注2)</sup>

(注1) 世界で最も古い歴史を持つ英国規格協会（BSI）グループの認証登録機関です。BSIが認可・発行する英国規格（BS）は、ドイツ連邦規格、アメリカ合衆国のASTM規格と並んで世界中で活用されています。BSIは、BS25999以外にも、ISO19000やISO14001の生みの親として広く知られています。

(注2) 英国認証機関認定審議会（UKAS）は、評価機関の公正さと技術力を詳細に調査し、その完全性と適正を実証・認定するために英国政府が認定した国家機関であり、世界での認知度は群を抜き、登録証に印刷されるUKASマークも広く知られています。

日本興亜保険グループでは、すべての活動の原点をお客様におき、これからもお客様の信頼にお応えできるよう一層の努力をしております。

以上